

最大顧客のオプトラン向け伸長に加えエッチャー向け拡大も寄与し経常最高益更新続く

株価 1694 円 (12/1) 時価総額 145 億円 (12/1) 発行済株 8,586 千株 (12/1)  
PER (18/8 : 10.2X) PBR (3.65X) 配当(DO 予)10.00 円 配当利回り 0.6%

#### 要約

- ・ 17/8 期は 35.8%増収、営業利益 7.9 倍とオプトラン成膜装置向けなど活況で最高益高更新
- ・ 18/8 期会社予想は 13.8%経常減益見通しも半導体設備投資増継続で今期も大幅増額予想
- ・ 19/8 期は医療機器向け、リモートプラズマ等の新製品の本格寄与も加わり収益拡大続く
- ・ 株価は DO 予想 EPS166.7 円に対し同業トップ並み PER16 倍となる 2670 円目標

**17/8 期は 35.8%増収、営業利益 7.9 倍とオプトラン成膜装置向けなど活況で最高益高更新**

17/8 期決算は 35.8%増収、営業利益 7.9 倍と最高益更新で着地したが、前期、同社の 5 大ユーザーは売上順にオプトラン、ASM、日立ハイテク、アルバック、東京エレクトロンと、16/8 期と上位 5 社に変更はないとのこと。装置分類ではスパッタ装置向けが最も多く 30%~40%を占め、次がエッチング装置 20%強、CVD、アッシャー向けが各々 20%内外の構成比の模様。

今回、11/29 付けの有価証券報告書で上位 2 社が開示されたが、最大顧客は 12 月 20 日公開予定のオプトラン (6235) であることが判明した。17/8 期オプトラン向け売上は 13.01 億円、全体の売り上げ構成比で 18.0%、半導体製造装置向けで 20.4%を占める。但し、仕向け第 2 位の理研電線 (2008 年に古河電工 100%子会社となり上場廃止) 向けが 8.83 億円あるが、これもオプトランにスパッタ装置の心臓部のイオン銃や電源部分を製造供給して共同で事業展開している会社であり、実質 21.84 億円がオプトラン向け、売上構成比で半導体製造装置向けの 34.2%となり、スパッタ装置向けの大半がオプトラン向けとなる。

**18/8 期会社予想は 13.8%経常減益見通しも半導体設備投資増継続で今期も大幅増額予想**

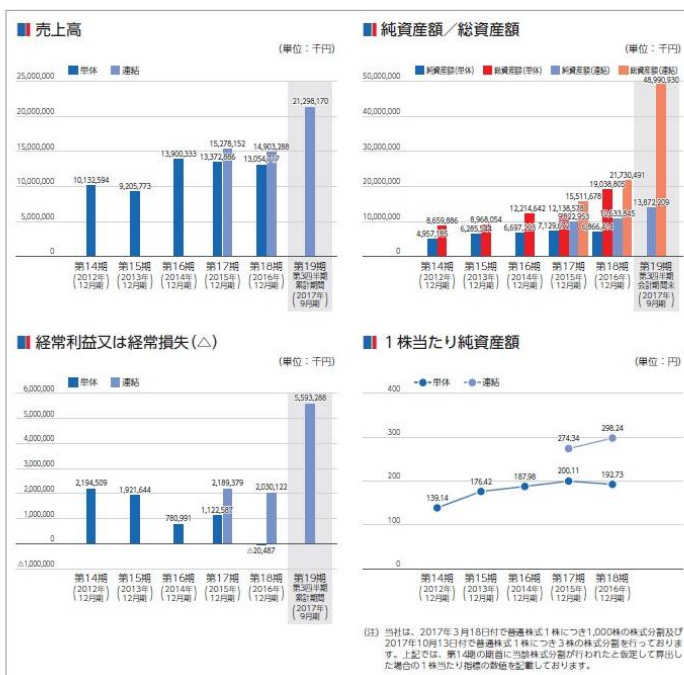
18/8 期会社予想は 13.8%経常減益見通し。半導体製造装置向けは堅調な売上増を見込むが、理化学向けは依然として低迷が続くとしている。利益面では海外生産拡大による人員増 (ベトナム工場で 30 名増員の 130 名体制、人件費 20%アップ想定) を中心経費増、IDX の R&D 増、海外サポート体制強化による経費増などから 2 ケタ経常減益予想としている。

会社側では 18/8 期はスパッタ向けが前期比横ばい確保見通しとのアナウンスの中で、エッチャー向けが増加傾向とのことで、今期は日立ハイテク、東京エレクトロン向けが増加するとしている。しかし現実的に成膜向けはオプトランの成長を考慮すれば 20%増以上の伸

びが継続する見通し。オプトラン向けで 20%増とすれば 5 億円程度の増収が見込める。ちなみにオプトランの 17/9Q3 末での受注残高は 343.46 億円（前期末比 36.5%増）、Q3 累計売上 213 億円（66%がアップル向け）、受注は売上比 1.4 倍の 305 億円である。これに東京エレクトロン、日立ハイテク（16/8 期 5.52 億円の実績あり）向けが加わる。なお、有価証券報告書で 17/8 期受注が開示されたが、17/5 期は前期比 49.2%増の 77.36 億円、受注残高は同 51.9%増の 15.15 億円と売上の伸びを上回る。

利益面ではベトナム工場の生産効率化が順調に進捗し増収効果で経費負担を十分補える環境にあり、全体として 18/8 期も収益は順調に拡大しよう。

オプトランの概況（直近の経営指標、業績予想）



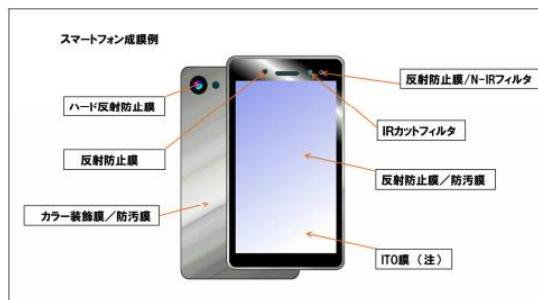
Optical Thin Film Coater  
光学薄膜形成装置  
OTFCシリーズ

シリーズ概要

OTFCシリーズはエッジフィルタ、帯域フィルタ、ARコーティング等のシフトレス光学フィルタを安定生産するためのイオンビームアシスト蒸着 (IAD) 式高性能光学薄膜形成装置です。

特徴

- チャンバーサイズ：φ600mm - φ1800mm
- 60点/80点式高精度光学膜厚計で光学膜厚を測定・制御。
- RFイオンソースは大面積かつ均一な分布と高電流密度を実現、ハイレートでの成膜が可能。
- 電子銃2基を搭載し、多点多つぼとアンニュラーハースにより100層を超える積層が可能。
- 自動蒸着制御システムによるプロセスの全自動化。
- 基板トームは中心回転式または遊星回転式かどちらかを選択可能。
- 排気系は拡散ポンプ+ポリコールドまたはクライオポンプかの選択が可能。



\*iPhone8 で筐体がガラス化、さらに iPhoneX では顔認証で赤外線センサー搭載カメラとなりオプトランが赤外線フィルタ膜付けで独占的地位確保。顔認証、ガラス筐体は今後アップル以外にも波及見通し。

## 19/8 期は医療機器向け、リモートプラズマ等の新製品の本格寄与も加わり収益拡大続く

同社は半導体・液晶製造装置向け高周波プラズマ電源以外で、収益の多角化を計画、新製品開発を進めている。具体的には、世界 NO2 の高周波プラズマ電源装置メーカーMKS 社に市場独占されているチャンバークリーニング用リモートプラズマで、高信頼性の新製品開発に成功。18/8 期の試験的導入から 10 台程度に止まる見通しながら、19/8 期は 100 台を超すオーダーに育ってくる見通しで、5 億円程度の寄与が見込める他、他分野での利用も可能で大型商品に育つ可能性を秘めている。また新規分野として医療プラズマ関連製品では皮膚炎感染症治療向など 2 製品に加え、日焼けによる皮膚がん治療向け、ミリ波電源装置利用の止血装置など 2 製品の製品化が進行中で、19/8 期には一部売上に寄与する見通し。

一方、国の研究費抑制の中で不振の IDX は、非研究所ニーズの掘り起こしを進める。具体的にはタッチパネルなどへの金属スパッタ向けにダメージが高周波電源に比べて少ない高電圧直流電源装置の開発を進めてきた。IDX は超高電圧や超電導など技術に長け、直流電源利用の難問と言われたアークコントロールに成功、従来の誘電体スパッタ向け高周波電源装置ユーザーに拡販していく方針で、18/8 期投入、19/8 期にはタッチパネル向けに本格拡大を目論む。このため 19/8 期は研究所向けの底入れと非研究所向け新製品で黒字転換が見込める。

全体として半導体製造装置での成膜装置の用途拡大が 5G への投資本格化でさらに拡大する見通しから継続的な需要増が見込め、さらにエッチング装置向けの拡大、NAND フラッシュなどの多層化進展で絶縁膜層の形成でプラズマ CVD 工程が加わり、新たに高周波プラズマ電源装置の需要拡大が続く見通し。加えて、リモートプラズマや医療関連新製品群の寄与などもあり、IDX の黒字化なども加わり、19/8 期も収益拡大継続が見込まれる。

## 株価は DO 予想 EPS166.7 円に対し同業トップ並み PER16 倍となる 2670 円目標

同社の株価は、決算説明会で例年通り強気のコメントがなかったものの、実際の受注状況は活況を呈しており、高周波プラズマ電源同業トップのダイヘンの予想 PER が 16 倍のため、DO 予想 EPS166.7 円に対し同業国内最大手のダイヘンコンセンサス予想 PER16 倍と同じ倍率で 2670 円を当面の目標としたい。

	アドテックプラズマテクノロジー(6668)									
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当
16/8 期	5,314	-10.6%	187	-64.4%	130	-79.6%	26	-93.6%	3.3	4.00
17/8Q1	1,543	27.3%	324	1412.2%	339	1079.8%	248	2188.9%	28.9	0.00
17/8Q2	1,719	20.7%	280	245.9%	287	1120.6%	238	822.7%	27.7	2.00
17/8Q3	2,014	61.3%	515	598.1%	517	320.0%	382	428.9%	44.5	0.00
17/8Q4	<b>1,943</b>	<b>35.9%</b>	<b>367</b>	<b>3236.4%</b>	<b>368</b>	<b>黒転</b>	<b>267</b>	<b>黒転</b>	<b>31.2</b>	<b>4.00</b>
17/8H1	3,261	23.8%	604	490.5%	627	1098.2%	486	1227.1%	56.6	2.00
17/8H2	<b>3,957</b>	<b>47.7%</b>	<b>882</b>	<b>937.6%</b>	<b>885</b>	<b>1049.7%</b>	<b>649</b>	<b>黒転</b>	<b>75.7</b>	<b>4.00</b>
17/8 期	<b>7,218</b>	<b>35.8%</b>	<b>1,486</b>	<b>693.7%</b>	<b>1,512</b>	<b>1065.0%</b>	<b>1,135</b>	<b>3885.7%</b>	<b>132.3</b>	<b>6.00</b>
18/8H1 会予	<b>3,700</b>	<b>13.5%</b>	<b>655</b>	<b>8.6%</b>	<b>645</b>	<b>3.0%</b>	<b>416</b>	<b>-14.4%</b>	<b>48.47</b>	<b>3.00</b>
18/8H2 会予	<b>3,724</b>	<b>-5.9%</b>	<b>654</b>	<b>-25.8%</b>	<b>658</b>	<b>-25.7%</b>	<b>434</b>	<b>-33.1%</b>	<b>50.66</b>	<b>3.00</b>
18/8 期会予	<b>7,424</b>	<b>2.8%</b>	<b>1,309</b>	<b>-11.9%</b>	<b>1,303</b>	<b>-13.8%</b>	<b>850</b>	<b>-25.1%</b>	<b>99.13</b>	<b>6.00</b>
18/8H1 DO 予	4,250	30.3%	1,050	73.8%	1,050	67.5%	680	39.9%	79.26	5.00
18/8H2 DO 予	4,900	23.8%	1,150	30.4%	1,150	29.9%	750	15.6%	87.42	5.00
18/8DO 予	9,150	26.8%	2,200	48.0%	2,200	45.5%	1,430	26.0%	166.68	10.00
19/8DO 予	11,000	20.2%	2,600	18.2%	2,600	18.2%	1,690	18.2%	197.09	12.00

四半期	18/8Q1DO 予	18/8Q2DO 予	18/8Q3DO 予	18/8Q4DO 予	19/8Q1DO 予	19/8Q2DO 予	19/8Q3DO 予	19/8Q4DO 予
売上高	2,000	2,250	2,500	2,400	2,300	2,700	2,800	3,200
売上原価	1,050	1,250	1,450	1,300	1,250	1,500	1,540	1,810
売上総利益	950	1,000	1,050	1,100	1,050	1,200	1,260	1,390
販管費	450	450	500	500	500	550	600	650
営業利益	500	550	550	600	550	650	660	740
経常利益	500	550	550	600	550	650	660	740
親株主帰属純利益	320	360	360	390	380	400	430	480
四半期セグメント売上情報	18/8Q1DO 予	18/8Q2DO 予	18/8Q3DO 予	18/8Q4DO 予	19/8Q1DO 予	19/8Q2DO 予	19/8Q3DO 予	19/8Q4DO 予
半導体・液晶	1,850	1,950	2,200	2,050	2,100	2,300	2,400	2,800
研究機関・大学向	150	300	300	350	200	400	400	400
合計	2,000	2,250	2,500	2,400	2,300	2,700	2,800	3,200
四半期セグメント営業利益	18/8Q1DO 予	18/8Q2DO 予	18/8Q3DO 予	18/8Q4DO 予	19/8Q1DO 予	19/8Q2DO 予	19/8Q3DO 予	19/8Q4DO 予
半導体・液晶	550	560	610	560	580	640	650	710
研究機関・大学向	-50	-10	-30	10	-30	10	10	30
部門合計営業利益	500	550	580	570	550	650	660	740
調整額	0	0	0	0	0	0	0	0
営業利益	500	550	580	570	550	650	660	740
営業利益率	18/8Q1DO 予	18/8Q2DO 予	18/8Q3DO 予	18/8Q4DO 予	19/8Q1DO 予	19/8Q2DO 予	19/8Q3DO 予	19/8Q4DO 予
半導体・液晶	29.7%	28.7%	27.7%	27.3%	27.6%	27.8%	27.1%	25.4%
研究機関・大学向	-33.3%	-3.3%	-10.0%	2.9%	-15.0%	2.5%	2.5%	7.5%
部門合計営業利益	25.0%	24.4%	23.2%	23.8%	23.9%	24.1%	23.6%	23.1%
調整額	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
営業利益	25.0%	24.4%	23.2%	23.8%	23.9%	24.1%	23.6%	23.1%

